

ＮＩＳＳＯHD、中間期の営業利益は前年比＋48.9%の大幅増
セミコン・エンジニア系の伸長が業績拡大に貢献

ＮＩＳＳＯホールディングス株式会社　代表取締役社長執行役員　清水竜一

目次

NISSOホールディングス

1 決算概要（2027年３月期 第２四半期）

2 サービス別業績（2027年３月期 第２四半期）

3 インダストリー戦略

4 日総グループの人材育成

5 日総グループのダイバーシティ推進

6 日総グループ トピックス

7 今後の見通し（2027年３月期）

8 株主還元方針

9 財務状況（2027年３月期 第２四半期）

Copyright © 2026 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

清水竜一氏：代表取締役社長執行役員の清水です。本日はご多忙のところ、当社の決算説明をご視聴いただき、誠にありがとうございます。

ただ今から、2027年3月期第2四半期中間決算説明を行います。本日は、スライドの目次に沿って進めます。

2027年３月期 第２四半期（中間期） サマリー

- 連結売上高は、在籍人数の増加、請求単価の上昇等もあり前年同期比で11.2%増加
- 連結営業利益は、売上総利益率の改善により前年同期比で48.9%増加

- オートモーティブは、令和８年熊本地震や各地で発生した水害に伴うサプライチェーンへの影響及び人材ニーズの伸び悩みにより在籍人数が減少したものの、請求単価の上昇もあり売上高は微減
- セミコンは、データセンター、AI関連の需要増を背景に人材ニーズは継続して拡大、在籍人数、売上高ともに順調に増加
- エレクトロニクスはセミコンと同様の理由により主要取引先の在籍人数が増加、また請求単価の上昇により売上高も増加
- エンジニア系は、セミコンでの高スキル領域での人材ニーズ拡大が継続。在籍人数、売上高ともに増加
- 採用強化に向けた媒体費の拡充と、デジタルツインを活用した高度人材の採用手法の開発を推進

Copyright © 2026 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

サマリーです。連結売上高は在籍人数の増加や請求単価の上昇等もあり、前年同期比で11.2パーセント増加しました。また、連結営業利益は売上総利益率の改善により、前年同期比で48.9パーセント増加しました。

オートモーティブインダストリー（自動車・EV関連）は、令和8年熊本地震や各地で発生した水害の影響により、自動車メーカーを中心にサプライチェーンに影響が生じました。それに加え、人材ニーズの伸び悩みもあり、在籍人数が減少しましたが、一方で請求単価の上昇もあり、売上高は微減となっています。

セミコンダクターインダストリー（半導体・半導体製造装置関連）では、データセンターやAI関連の需要増が背景にあり、人材ニーズが引き続き拡大しています。在籍人数および売上高も順調に推移しています。

エレクトロニクスインダストリー（通信機器・電子部品）では、セミコン分野と同様の理由で主要取引先の在籍人数が増加しました。また、請求単価の上昇により、売上高も増加しています。

エンジニア系については、セミコンダクターインダストリーにおける高スキルな人材へのニーズが拡大しています。その影響で在籍人数と売上高がともに増加しています。この点については後ほど詳細をご説明します。

また、人手不足という状況の中で、採用強化に向けた媒体費の拡充や、デジタルツインを活用した高度人材の採用手法の開発も進めています。

決算概要：2027年３月期 第２四半期（中間期） 連結業績ハイライト

NISSOホールディングス

前年同期比で売上高11.2%増　営業利益48.9%増　経常利益56.1%増　中間純利益70.4%増

（単位：百万円）

	26年３月期 第２四半期		27年３月期 第２四半期		前年同期比	
	実績	百分比	実績	百分比	増減額	増減率
売上高	53,165	100.0%	59,133	100.0%	5,967	11.2%
売上総利益	8,565	16.1%	9,873	16.7%	1,308	15.3%
販管費	7,583	14.3%	8,412	14.2%	828	10.9%
営業利益	981	1.8%	1,461	2.5%	479	48.9%
経常利益	970	1.8%	1,515	2.6%	544	56.1%
親会社株主に帰属する中間純利益	521	1.0%	889	1.5%	367	70.4%

M＆Aの寄与及び成長領域として注力してきたセミコン、エンジニア系の伸長が増収をけん引

M＆Aに伴う人件費・のれん償却費の増加に加え、在籍人数拡大に向けた採用への投資を積極化

増収等による売上総利益の増加が販管費の増加を上回ったことにより、営業利益は増加

Copyright © 2026 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

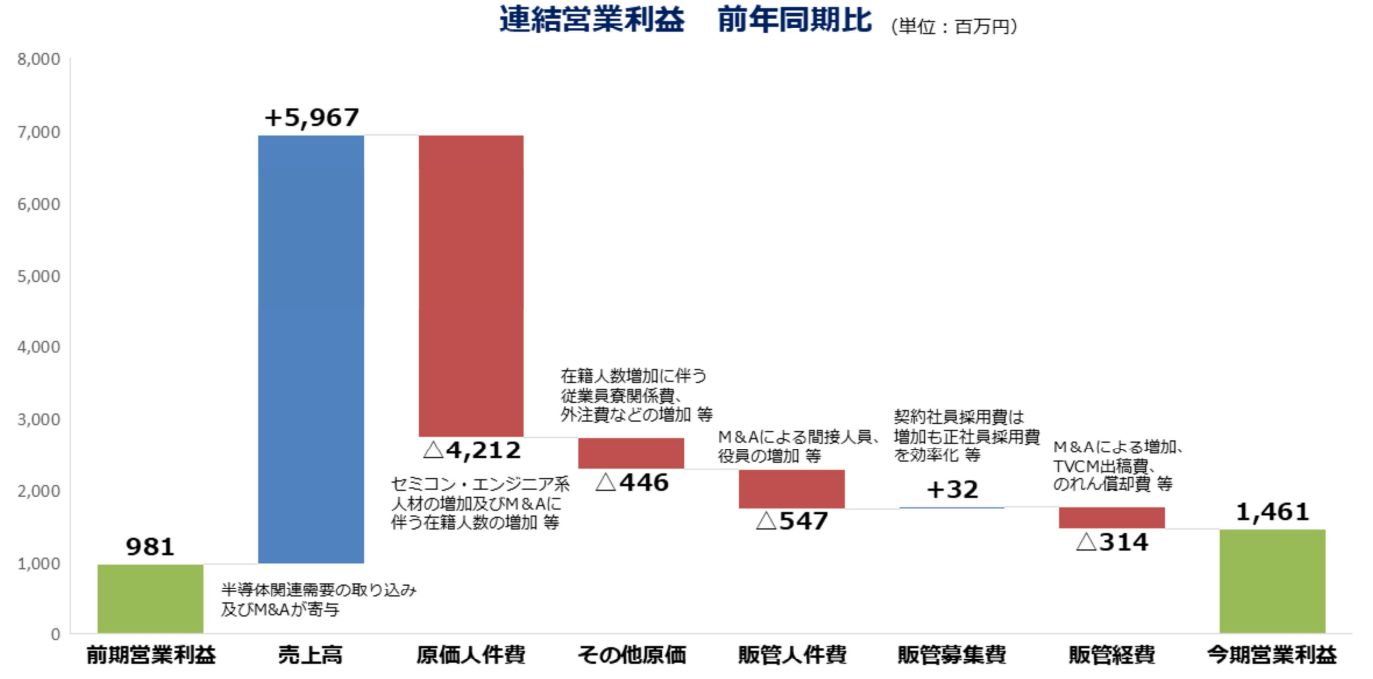
決算概要についてご説明します。売上高は前年同期比で11.2パーセント増加し、営業利益は前年同期比で48.9パーセント増加しました。

この要因としては、M&Aの寄与や、成長領域として注力してきたセミコンダクターインダストリーおよびエンジニア系が売上を押し上げたことが挙げられます。

販管費については、M&Aに伴う人件費やのれん償却費の増加を受けて増加しています。

スライドの表からは、増収増益の要因が読み取れるのではないかと思います。

決算概要：2027年３月期 第２四半期（中間期） 連結営業利益増減分析 NISSOホールディングス



Copyright © 2026 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

スライドのグラフは、前年同期比で売上高がどのように伸びたか、それに伴い販管費がどのように増えたか、結果として今期の利益がどのような構造になっているかを示したものです。後ほどご覧ください。

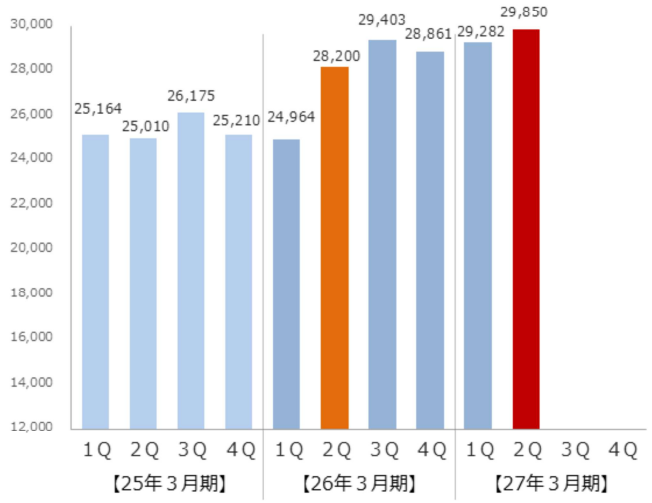
決算概要：2027年３月期 四半期単位の連結業績

NISSOホールディングス

前年同期比で２Qの売上高は5.8%増、増収効果等により２Qの営業利益は36.5%増

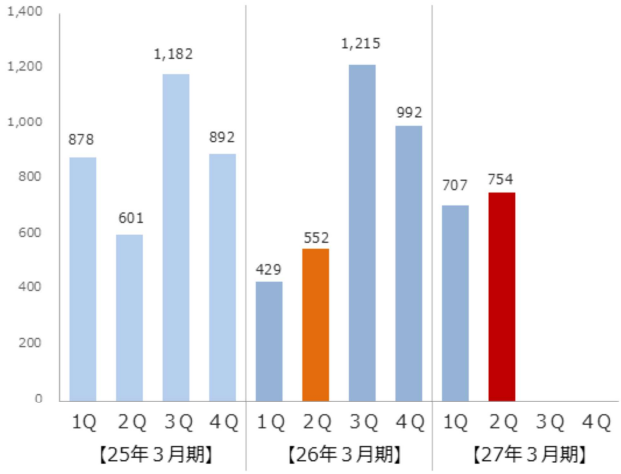
売上高

（単位：百万円）



営業利益

（単位：百万円）



Copyright © 2026 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

売上高と営業利益の四半期ごとの推移です。スライドのグラフをご覧いただくと、売上高が確実に伸びていることや、営業利益が前年同期比で36.5パーセント増加していることから、右肩上がりで推移していることがおわかりいただけるかと思います。

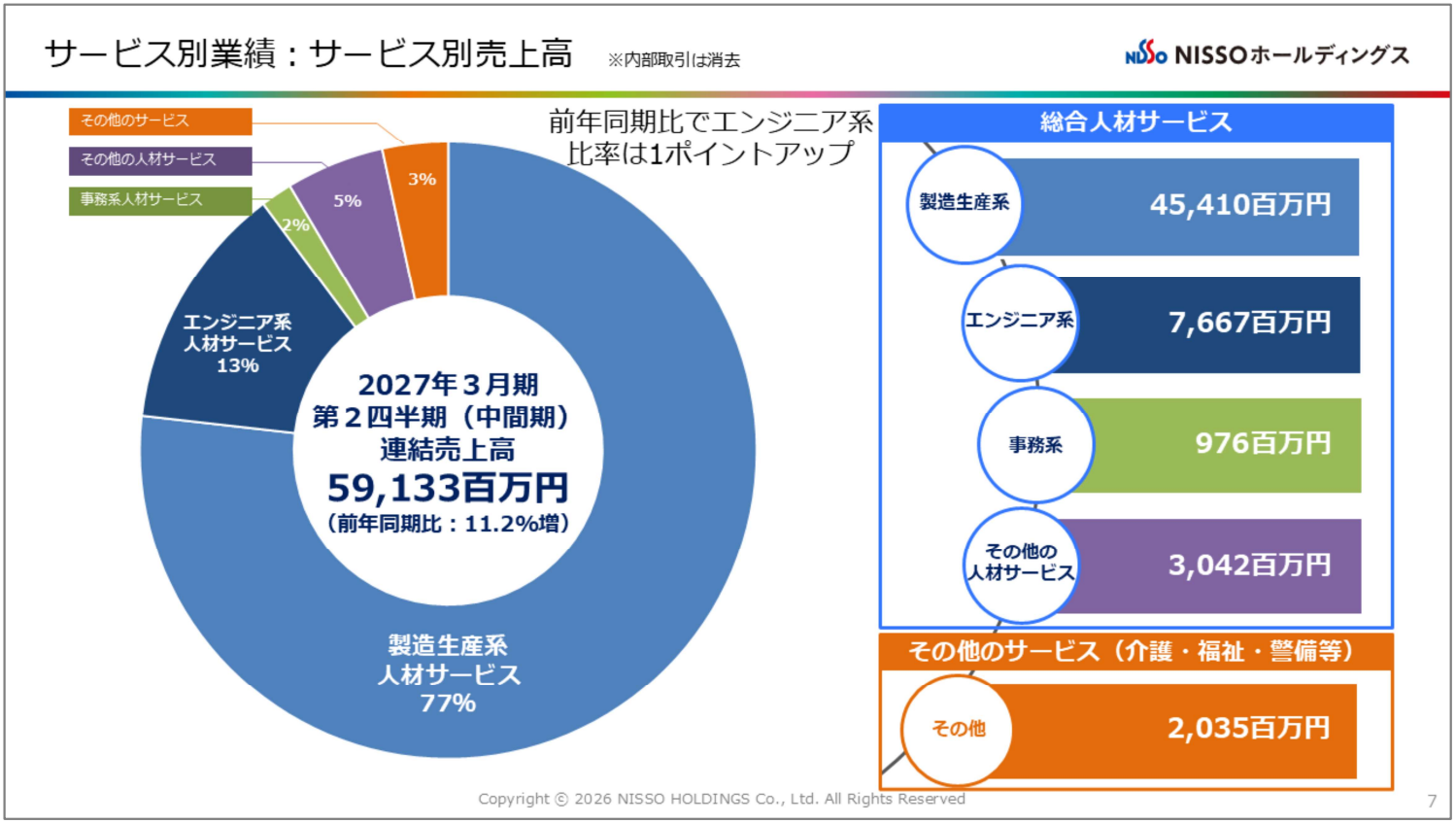
サービス別業績：グループ会社一覧

NISSOホールディングス

NISSOホールディングス	NISSOホールディングス株式会社			
日総工産株式会社	日総工産株式会社	製造派遣、製造請負、職業紹介　等	製造生産系人材サービス	エンジニア系人材サービス
Vector Shinwa	株式会社ベクトル伸和	製造請負、製造派遣　等		
Nisso Brain	日総ブレイン株式会社	事務系派遣、BPO　等	事務系人材サービス	
株式会社ニコン日総プライム	株式会社ニコン日総プライム	人材派遣、人材紹介　等	その他の人材サービス	
日総ぴゅあ株式会社	日総ぴゅあ株式会社	軽作業請負、物販　等		
Man to Man 株式会社	Ｍａｎ　ｔｏ　Ｍａｎ株式会社	製造派遣、製造請負、職業紹介　等	製造生産系人材サービス	エンジニア系人材サービス
Man to Man Vietnam	MAN TO MAN Vietnam Co.,Ltd.	人材紹介　等		
Man to Man Assist	Ｍａｎ　ｔｏ　Ｍａｎ　Ａｓｓｉｓｔ株式会社	生産受託・物流受託　等		
animo STYLE	Ｍａｎ　ｔｏ　Ｍａｎ　Ａｎｉｍｏ株式会社	Webシステム開発・行政受託事業　等	その他の人材サービス	
TECHPORT テックポート株式会社	テックポート株式会社	製造系システム開発受託　等	その他のサービス	
日総ニフティ株式会社	日総ニフティ株式会社	施設介護、在宅介護　等		
オールジャパンガード株式会社		施設警備・交通警備　等		
その他の関連会社	株式会社ツナググループ・ホールディングス　株式会社LeafNxT　株式会社SUBARU nw Sight　NISSO FLORA CO., LTD.　株式会社Urth			

Copyright © 2026 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

グループ会社の一覧です。変更のポイントのみご説明します。関連会社では、ベトナムの現地法人としてNISSO FLORA社が立ち上がりました。また、後ほどトピックスで詳細をご説明しますが、株式会社Urth（アース）が新たに仲間に加わりました。



サービス別の売上高の円グラフです。構成比率は第１四半期と比較して大きな変化はありませんが、前年同期比ではエンジニア系比率が1ポイントアップしています。後ほどご覧いただければと思います。

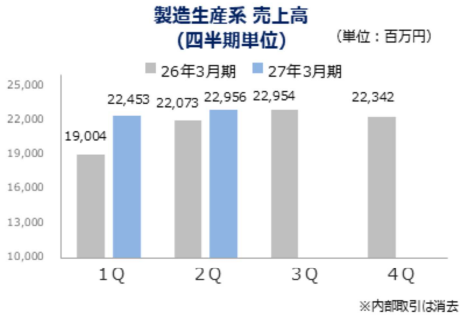
サービス別業績：製造生産系人材サービス

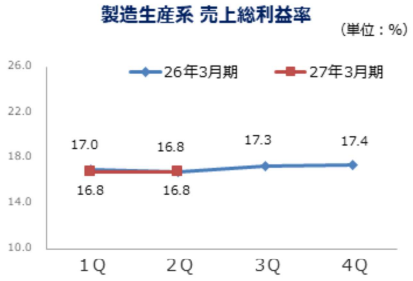
NISSOホールディングス

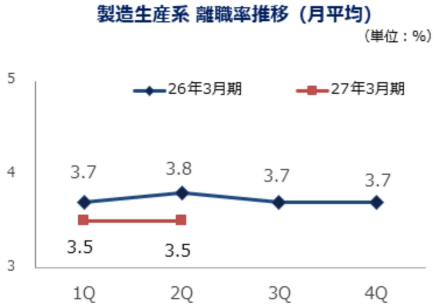
ポイント

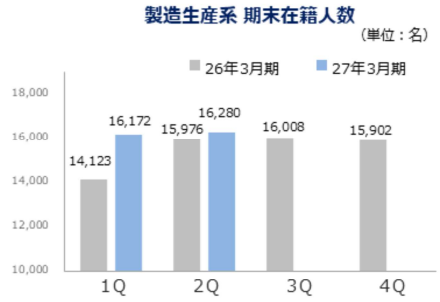
・２Qの製造生産系の売上高は、在籍人数の増加、請求単価の上昇等もあり前年同期比で4.0%増加

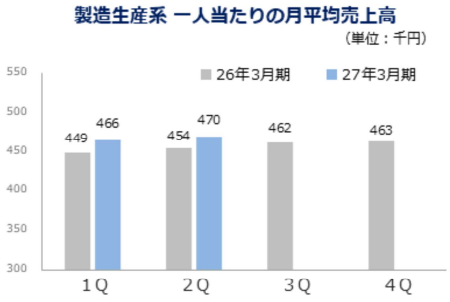
・一人当たりの売上高は、前年同期比で3.4%増加











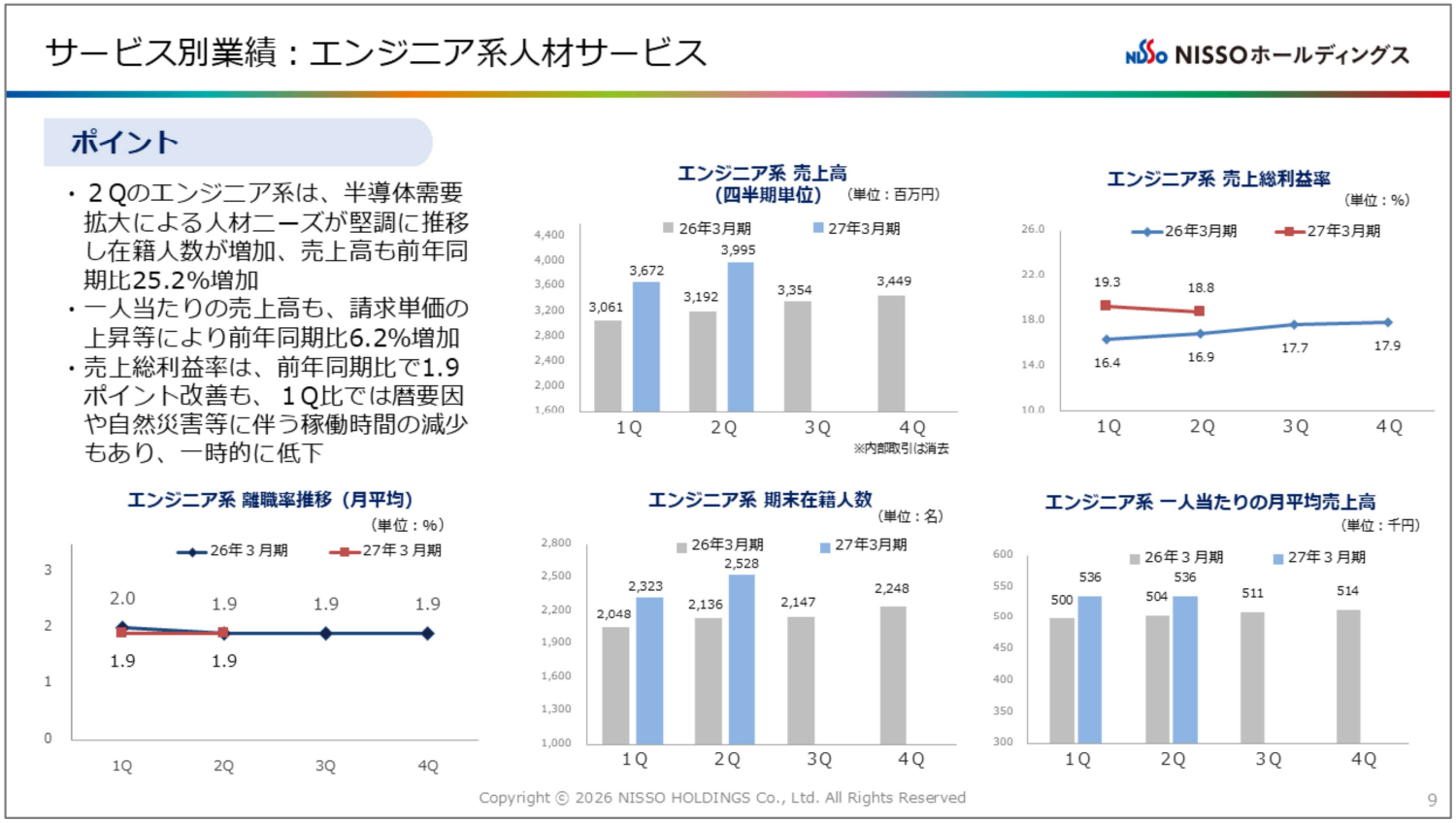
Copyright © 2026 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

製造生産系人材サービスについてです。在籍人数の若干の増加、および請求単価の上昇等により、第2四半期の売上高は前年同期比で4.0パーセント増加しています。

1人当たりの売上高は前年同期比で3.4パーセント増加しており、こちらも請求単価の上昇が主因です。

グラフの中で特にご注目いただきたいのは、定着率に関する状況です。スライド左下の離職率推移をご覧いただくと、3.5パーセントという低い水準で推移していることがわかります。

一方で、売上総利益率については、横ばいとなっています。これは暦の影響も受けていますが、水害等によるサプライチェーンの影響で稼働が若干下がったことが収益に影響を与えたとご理解いただければと思います。



エンジニア系人材サービスについてご説明します。半導体の需要が非常に旺盛な状況において、第2四半期の売上高は前年同期比で25.2パーセント増加しました。

第2四半期は、先ほどの製造生産系と同様に稼働に影響が出ているものの、1人当たりの売上高は前年同期比で6.2パーセント増加しています。エンジニア系売上総利益率にも、こうした稼働状況の影響が若干出ているものの、今後の回復に向かうプロセスにおいてはそれほど大きな問題ではないと考えています。

後ほどご説明しますが、当社は半導体分野の旺盛な需要に応えるべく、引き続き教育訓練への積極的な投資を行っていきます。このような収益性の状況下で推移しながら、将来に向けた備えを進めていきます。

サービス別業績：事務系・その他の人材サービス

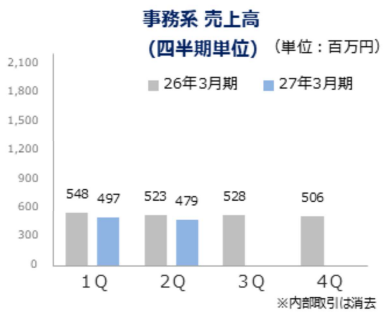
NISSOホールディングス

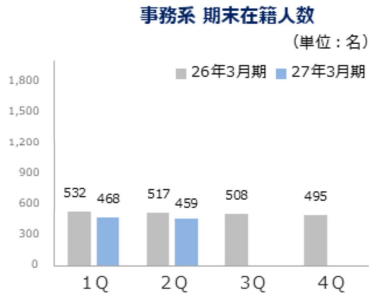
事務系人材サービスについて

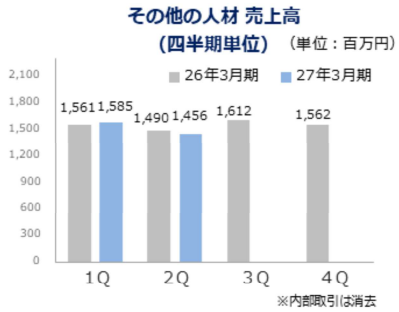
２Qの事務系の売上高は、在籍人数の減少もあり、前年同期比で8.5%減少

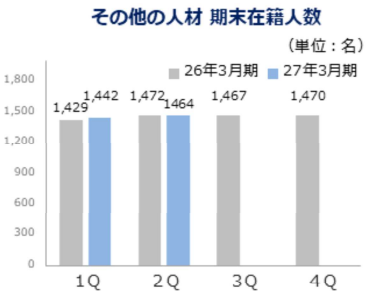
その他の人材サービスについて

２Qのその他の人材サービスの売上高は、在籍人数の減少もあり前年同期比で2.3%減少









Copyright © 2026 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

事務系およびその他の人材サービスについてご説明します。事務系の領域では、売上高の減少が続いています。

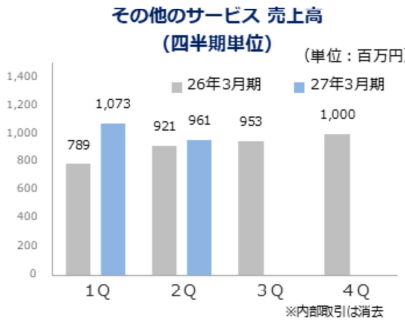
しかしながら、当社はこの事務系領域の会社を活用し、事業再編に備えたシェアードサービスを展開しようと考えています。このシェアードサービスを立ち上げることで、事業再編後にバックオフィス系事業の効率化を図りたいと考えています。

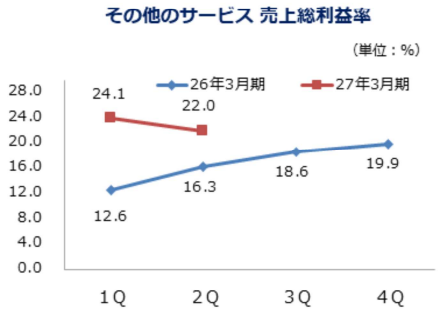
サービス別業績：その他のサービス（介護・福祉・警備等）

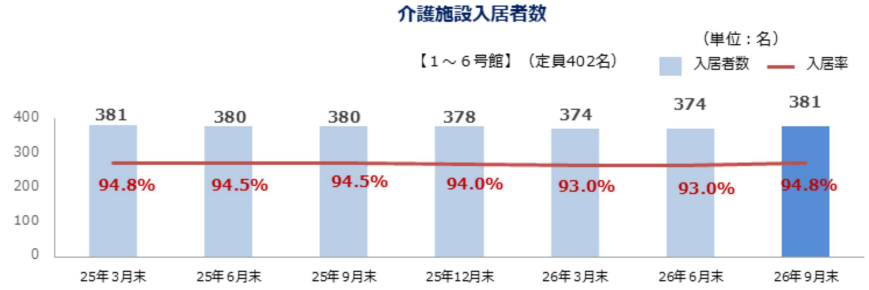
NISSOホールディングス

ポイント

- その他のサービスでは、介護・福祉サービス、警備に加え、製造系システム開発受託などを展開
- ２Qのその他のサービスの売上高は、M&Aによる寄与もあり、前年同期比で4.4%増加
- 最も売上高の大きい介護・福祉サービスでの介護施設全体の入居率は、94.8%と高水準を維持
- 売上総利益率は、前年同期比で5.7ポイント改善







Copyright © 2026 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

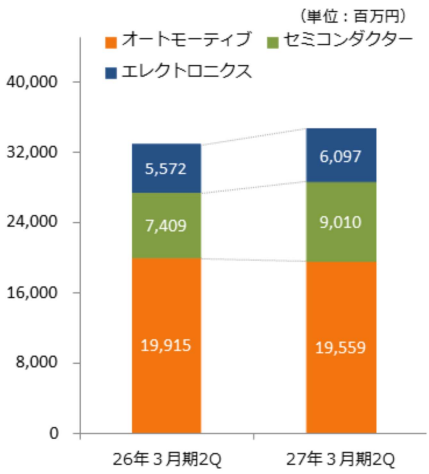
サービス別業績のうち、その他のサービスは介護・福祉・警備等の領域になります。介護・福祉領域の入居率は高水準を維持しています。

インダストリー戦略：インダストリー別売上高

NISSOホールディングス

インダストリー別売上高（前年同期比）
・オートモーティブ1.8%減、セミコンダクター21.6%増、エレクトロニクス9.4%増
・インダストリー売上高合計は5.4%増、連結売上高の拡大により構成比は低下も１Q比では増加

2027年３月期 第２四半期 インダストリー別売上高



インダストリー別状況

	2026年３月期 第２四半期		2027年３月期 第２四半期		前年同期比増減率	構成比差異
	実績（百万円）	連結売上高構成比（%）	実績（百万円）	連結売上高構成比（%）		
オートモーティブインダストリー（自動車製造・EV関連製造業界）	19,915	37.5%	19,559	33.1%	△1.8%	△4.4pt
セミコンダクターインダストリー（半導体製造業界）	7,409	13.9%	9,010	15.2%	21.6%	+1.3pt
エレクトロニクスインダストリー（電子機器製造業界）	5,572	10.5%	6,097	10.3%	9.4%	△0.2pt
合計	32,897	61.9%	34,667	58.6%	5.4%	△3.3pt

Copyright © 2026 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

インダストリー戦略におけるインダストリー別売上高の表とグラフです。オートモーティブインダストリーの売上高は前年同期比で1.8パーセント減少しましたが、それ以外のセミコンダクターインダストリーとエレクトロニクスインダストリーは順調に成長しています。

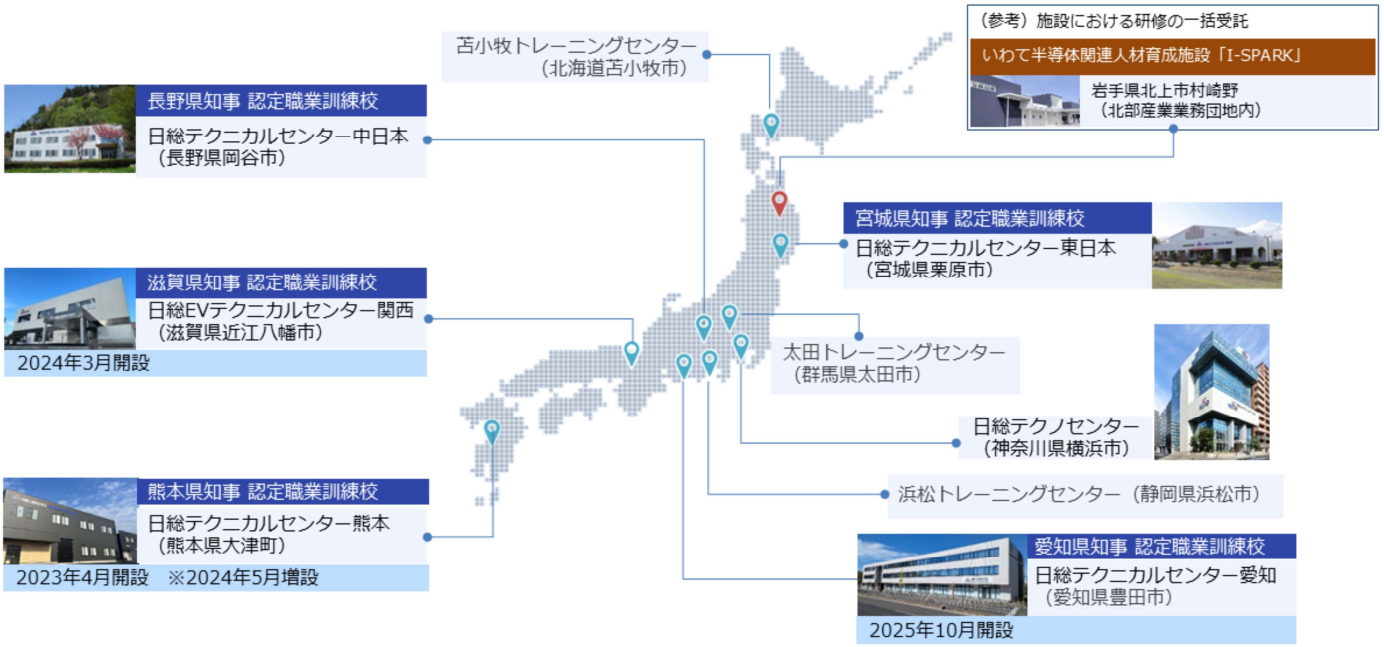
特にセミコンダクター領域においては、私たちが「今後はこのように変化するだろう」というニーズを先取りできたことが、結果につながっていると捉えています。設備保全や設備系エンジニアの需要は非常に旺盛です。今後もお客様における人材の確保が難しい状況が続くと予想されます。

そのような状況の中で、私たちは現状に満足せず、先行的に教育投資を行うことで、将来への備えをしっかりと整えていきたいと考えています。

これまでにない新たな取引先が増加しただけでなく、既存の取引先においてもシェアを確実に拡大できています。これらは、当社の施策が正しかったことの表れだと捉えています。

日総グループの人材育成：全国に広がる育成拠点

NISSOホールディングス



Copyright © 2026 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

日総グループの全国に広がる人材育成の拠点についてですが、特に変化はありませんので、後ほどご覧ください。

日総グループの人材育成：教育実績

NISSOホールディングス

ポイント

・エンジニア系研修は、従来型教育の受講者数が前年同期比で減少するも、個社ごとのニーズに対応した個別研修が拡大中

・ NISSO HR Development Service（外部社員研修）の受講者数は、前年同様のニーズを獲得、提携先教育機関の学生に向けた研修も実施中

● 2027年３月期 第２四半期 教育実績（延べ人数）

区分	研修内容	2027年３月期 第２四半期
（直接系） エンジニア系研修	製造設備保全・製造設備技術 機械設計・生産技術 産業用ロボット特別教育等	775名
（直接系） 製造生産系研修	ものづくり教育 職長教育 危険体感教育等	7,680名
（直接系） その他研修	コンプライアンス定期教育 キャリア支援研修 資格（レベルアップ）研修等	1,966名
介護・福祉研修	高齢者虐待防止・身体拘束廃止研修 事故発生防止リスクマネジメント研修 感染症・食中毒予防研修等	1,026名
合　計		11,447名
外部社員研修（受託）	機械保全基礎 製造設備基礎 危険体感教育等	419名

Copyright © 2026 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

教育実績についてです。エンジニア系の研修人数は、前年同期比で若干減少していますが、内容は大変充実してきています。お客さまのニーズが明確になり、それぞれのお客さまに合わせてカスタマイズした研修プログラムを現在実施しています。

結果として、一人ひとりが受ける研修プログラムの密度や時間が増えていますので、人数は減少しているものの、内容が拡充されている点をご理解いただければと思います。

「NISSO HR Development Service（外部社員研修）」については、これまでの企業研修に加え、提携している教育機関の学生に向けた研修を開始しています。今後の展開にもご注目いただければと考えています。

日総グループのダイバーシティ推進

NISSOホールディングス

ポイント

- 日本国内の労働人口減少や高齢化の進展を背景に、人材多様化への対応が経営上の重要課題と認識
- 多様な人材が活躍できる企業であるために、ダイバーシティ比率向上に向けた活動を推進
- 実行課題を「DE&Iの推進」、指標を「ダイバーシティ比率※」、**目標を「2031年３月期40%」**に設定
- ダイバーシティ社員数が増加、ダイバーシティ比率も、前期末比で0.2ポイント上昇

● ダイバーシティ（人材多様化）の推移

	2026年３月期末	2027年３月期２Q末	前期末比
ダイバーシティ比率	34.2%	34.4%	+0.2pt
ダイバーシティ社員数	7,582名	7,825名	+243名

（ご参考）ダイバーシティ区分別の人数と比率

	実績（名）	百分比（%）	実績（名）	百分比（%）	前期末比増減人数
女性社員数	5,518	24.9	5,643	24.8	+125名
シニア社員数	1,692	7.6	1,720	7.6	+28名
グローバル社員数	673	3.0	847	3.7	+174名
障がい者社員数	347	1.6	351	1.5	+4名

※ダイバーシティ比率：当社グループの総従業員数に占める女性社員、シニア社員、グローバル社員及び障がい者社員の合計比率

Copyright © 2026 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

日総グループにおけるダイバーシティ推進についてご説明します。当社は2031年3月期までにダイバーシティ比率を40パーセントにするという目標を掲げています。いまだ歩みは遅い状況ですが、ダイバーシティ比率は前期末比で0.2ポイント増加し、ダイバーシティ社員数は243名の増加となっています。

今後の人手不足を考慮しつつ、グローバル社員はもちろんのこと、シニア、女性、障がい者の方々を戦力として活用するべく、多くの挑戦を続けています。今後もダイバーシティ比率を上昇させていきます。



トピックスです。1つ目に、当社子会社の日総工産が、Urth（アース）社と資本提携を行うことになりました。この会社は、リアルとバーチャル空間のデザインを手掛ける、非常に先進的な会社です。

今後、私たちはこの技術を活用し、採用やお客さまの課題解決といった新たなサービスの提供に、Urth社と連携して挑戦したいと考えています。

2つ目に、2026年8月に7冊目となる「日総グループ サステナビリティ報告書2026」を発行しました。人的資本をはじめ、DE&I、地域社会との共生、気候変動、ガバナンスなど、非財務領域の取り組みを幅広く掲載しています。

今後の見通し：2027年３月期　通期連結業績予想

NISSOホールディングス

●2027年３月期 通期連結業績予想数値（2026年4月1日～2027年3月31日）

（単位：百万円）

	26年３月期実績		27年３月期予想		対前期比	
	実績	百分比	予想	百分比	増減額	増減率
売上高	111,430	100.0%	118,500	100.0%	7,069	6.3%
営業利益	3,190	2.9%	3,500	3.0%	309	9.7%
経常利益	3,200	2.9%	3,500	3.0%	299	9.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,902	1.7%	2,100	1.8%	197	10.4%

Copyright © 2026 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

通期連結業績予想です。据え置きの方針でいますが、現時点で非常に順調に推移してきています。この中間期は、現在取り組んでいる中期経営計画のちょうど折り返し地点にあたります。

残りの1年半でやるべきことは多くありますが、足元が順調に推移している現状を踏まえ、収益がさらに上振れする場合は、状況に応じて投資を先行し、早期に結果を出すことにも挑戦していきたいと考えています。

株主還元方針

NISSOホールディングス

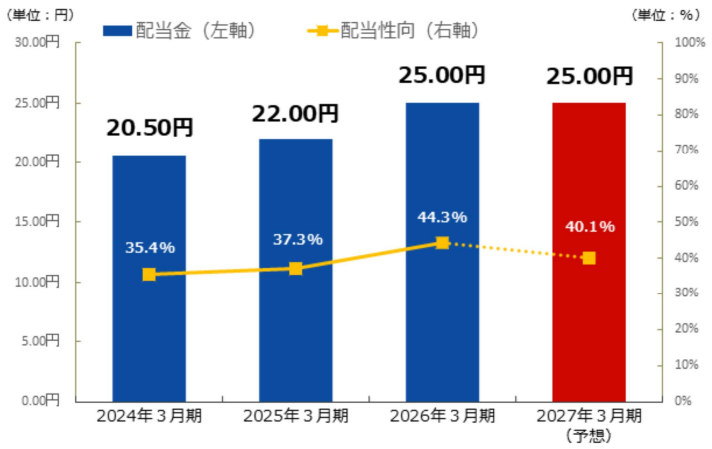
基本方針

当社は、株主に対する利益還元と企業価値の向上を経営の重要課題と位置付けており、連結配当性向30%以上を目安に株主の皆さまへ安定した利益還元を継続することを基本方針としております。

2027年３月期の配当予想

１株当たり配当金額は25.00円（連結配当性向は40.1%）を予定しております。

配当金と配当性向



Copyright © 2026 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

株主還元方針です。前年度と同様に、25円の配当に据え置いています。

財務状況：連結貸借対照表

NISSOホールディングス

ポイント

①業績拡大による増加
総合人材サービスの売上高拡大等により、流動資産の「受取手形及び売掛金」及び流動負債の「未払費用」が増加

②返済
借入金の約定返済により固定負債の「長期借入金」が減少

③全体
上記の結果、前期末比で資産合計が1.5%増加、負債合計が3.1%増加、純資産合計が0.2%増加となり、自己資本比率は52.8%（前期末53.4%）

（単位：百万円、%）

	26年３月末		26年9月末		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	**20,528**	**59.6**	**21,346**	**61.1**	**818**
現金及び預金	5,908	17.2	6,852	19.6	944
受取手形及び売掛金	13,098	38.1	13,217	37.8	118
固定資産	**13,890**	**40.4**	**13,591**	**38.9**	**△298**
有形固定資産	5,524	16.1	5,436	15.6	△87
無形固定資産	3,431	10.0	3,255	9.3	△175
投資その他の資産	4,933	14.3	4,898	14.0	△34
資産合計	**34,418**	**100.0**	**34,938**	**100.0**	**519**
流動負債	**13,412**	**39.0**	**14,013**	**40.1**	**601**
未払費用	7,450	21.6	7,532	21.6	82
未払法人税等	472	1.4	660	1.9	187
賞与引当金	1,679	4.9	1,785	5.1	106
固定負債	**2,323**	**6.7**	**2,205**	**6.3**	**△117**
長期借入金	554	1.6	409	1.2	△144
負債合計	**15,736**	**45.7**	**16,219**	**46.4**	**483**
株主資本	**17,983**	**52.3**	**18,066**	**51.7**	**83**
非支配株主持分	**306**	**0.9**	**288**	**0.8**	**△17**
純資産合計	**18,682**	**54.3**	**18,719**	**53.6**	**36**
負債純資産合計	**34,418**	**100.0**	**34,938**	**100.0**	**519**

Copyright © 2026 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

連結貸借対照表です。後ほどご覧いただければと思います。

財務状況：連結キャッシュ・フロー計算書

NISSOホールディングス

ポイント

①営業活動によるキャッシュ・フロー
税金等調整前中間純利益1,515百万円等の収入で法人税等の支払額499百万円等を吸収して、2,066百万円の収入

②投資活動によるキャッシュ・フロー
投資有価証券の売却による収入29百万円、有形固定資産の取得による支出25百万円、無形固定資産の取得による支出19百万円等により19百万円の支出

③財務活動によるキャッシュ・フロー
長期借入金の返済による支出245百万円、配当金の支払額841百万円等により、1,103百万円の支出

（単位：百万円）

	26年3月期 中間期	27年3月期 中間期	増減額
	金額	金額	
営業活動によるキャッシュ・フロー	445	2,066	1,620
投資活動によるキャッシュ・フロー	△464	△19	445
財務活動によるキャッシュ・フロー	△810	△1,103	△292
現金及び現金同等物の増減額	△828	944	1,773
現金及び現金同等物の期首残高	8,186	5,908	△2,277
現金及び現金同等物の期末残高	7,357	6,852	△504

Copyright © 2026 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

連結キャッシュ・フロー計算書です。ご覧いただいているとおりの内容です。

お知らせ

NISSOホールディングス

2026年11月４日に統合報告書2026を発行しました
こちらもぜひご覧ください






社長メッセージ
「人を育て 人を活かす」を原点に
変化を捉え、人の可能性をひらく
人との出会いが経営の原点
労働市場の変化を見詰く

日総グループ統合報告書2026
URL：https://www.nisso-hd.com/ir/upload_file/m005-m005_09/20261104.pdf

Copyright © 2026 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

2026年11月4日に「統合報告書2026」を発行しました。私たちが何を考え、社会にどのようなことができるのかが詳しく記載されています。特に今回は、当社グループで働くさまざまな社員の声や取り組みを紹介し、よりわかりやすい内容になっていますので、ぜひご覧ください。

働きものを、幸せものに。

NISSOホールディングス

本資料で記述している将来予測及び業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

〈ＩＲに関するお問い合わせ先〉

NISSOホールディングス株式会社　広報・IR部

電話　045-777-7630　　E-mail　ir@nisso-ir.com　　URL　https://www.nisso-hd.com

以上で第2四半期の決算説明を終了します。ご清聴ありがとうございました。